

挨拶をしましょう

今年には東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い、3つの祝日が、本来なら行われるはずだった、オリンピックの開・閉会式前後に移動しました。海の日（本来は7月第3月曜日）をオリンピック開会式前日の7月23日に、スポーツの日（本来は10月第2月曜日）を開会式の24日に、山の日（本来は8月11日）を閉会式翌日の8月10日とした関係で先週は4日間連続の休みとなりました。通勤・通学ラッシュや渋滞をなくし、選手団の移動や、さまざまな国から、国を代表して来る人の警護などへの支障を減らすのが目的で決まったようです。オリンピック・パラリンピックは延期になりましたが、祝日については、変更しなかったからです。日に日に暑くなっているので、ちょっと気分転換をするのに、みなさんにとっても良いやすみだったのではないのでしょうか？残念ながら、オリンピック・パラリンピックは延期になりましたが、1年後の開催を信じて前向きに練習をしている選手がたくさんいます。空手代表の西村拳選手の朝日新聞の記事を紹介します。競泳のマイケルフェルプスが、北京五輪で8個の金メダルを手にした姿が衝撃でした。「こんな化け物が五輪にはいるんや」って。空手は五輪競技ではなかったから、テレビの向こうは

夢の世界でしたね。どれだけ努力しても届かない舞台だと思っていました。空手は今回が初の五輪です。たまたま僕が現役の時に実施競技に入り、出場権を獲得できた。夢が現実になった。空手を知ってもらえる機会でもある。だから中止でもいいや、と簡単には思えない。開催してほしいというのが本音です。でも、そう言ってばかりもいられない状況です。新型コロナの終息が開催の前提でしょう。最高の状態で本番を向かうために、いまの僕は前に進むだけです。と語っています。様々な選手がいろいろな思いで今を過ごしています。また、たくさんの競技を観戦できることを楽しみにしたいと思います。

ところで、先週、挨拶と服装についてのお話をしましたが、挨拶をきちんとしてくれたり、服装を整えたりしてから来てくれる人が増えました。先生たちも、なんだかとても朝からうれしく温かな気持ちになります。ぜひこれからも続けてくださいね。